

京都大学 女性研究者が実力発揮できる研究環境の実現を！

国立大学法人 京都大学
女性研究者支援センター
「女性研究者支援モデル育成」事業
女性研究者の包括的支援

学生・教職員数 (H19年5月1日現在)

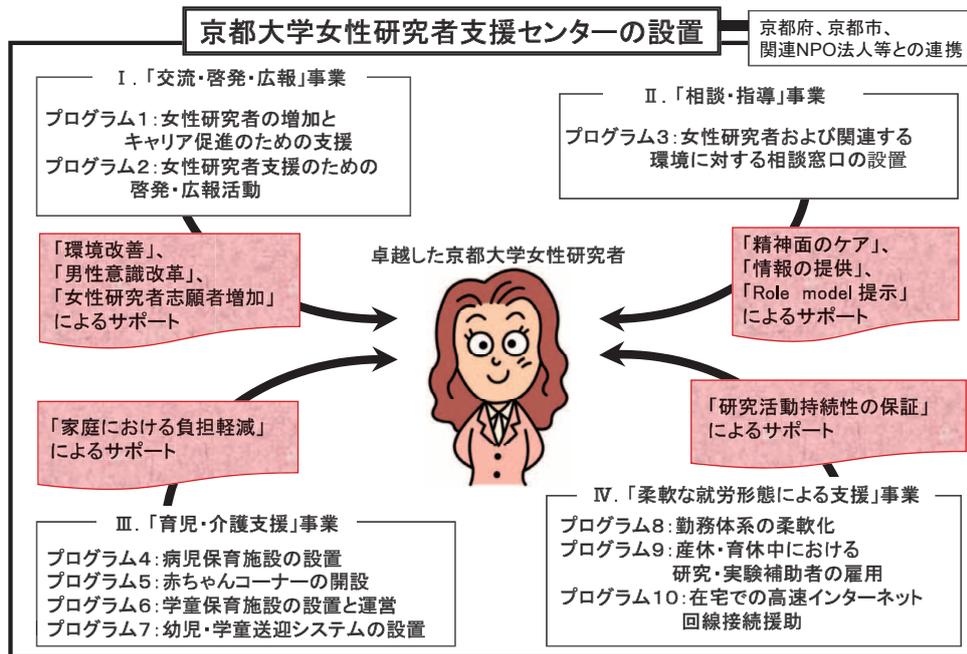
	学部生	大学院生	教員	職員
総数	13,381	9,377	2,879	2,522
女性比率	21.1%	24.6%	7.4%	53.9%



京都大学女性研究者支援センター
(2006年9月設立)

京都大学女性研究者支援センターでは、以下に示す4つの事業の柱を立て、女性研究者の支援を実施しています。特に、病中、病後の子どもを預けることのできる病児保育室の設置、年度途中の保育園待機乳児のための保育室の運営、産休・育休・介護休暇のため研究時間をやむなく削られる女性研究者のための研究補助者の雇用、相談窓口の設置、小学生のための「夏休みキッズサイエンススクール」の実施、女子高校生を大学に招いての交流会など多様な支援を行っています。

女性研究者の包括的支援「京都大学モデル」: 実施内容



総括責任者名：総長 尾池 和夫

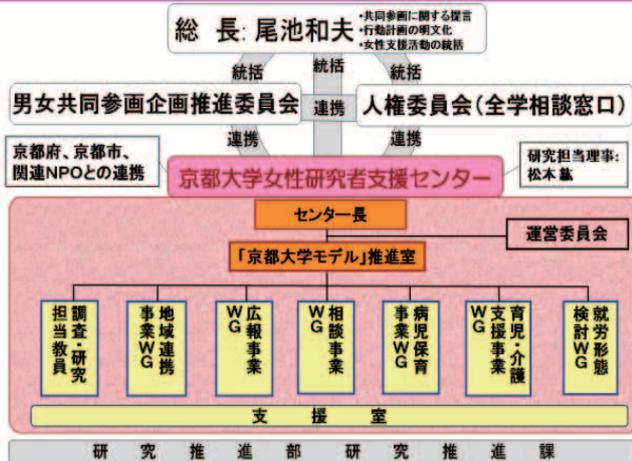
実施責任者名：女性研究者支援センター長 稲葉カヨ

推進室の名称・連絡先：京都市左京区吉田橋町

京都大学女性研究者支援センター (Tel: 075-753-2437)

京都大学(女性研究者支援センター)

女性研究者の包括的支援「京都大学モデル」:実施体制



I.「交流・啓発・広報」事業

交流会

- ・女性教員と女子学生・院生の交流会
- ・女性教員と女子高校生との交流会・出前授業
- ・ジュニアキャンパスで特別ゼミ



シンポジウム

- ・研究者のキャリア設計
- ・性差科学の最前線ー生物学的性差と社会的性別をつなぐー
- ・国際シンポジウム
 「大学の女性達ーアメリカの実情、日本の現実ー」



啓発・広報

- ・男女共同参画の男性向け開発セミナー
- ・ニュースレター(年8回)の発行、シリーズ「研究者になる!」
- ・ホームページによる広報



II.「相談・指導」事業

三つの窓口

- ・メンター制度
 メンターは准教授以上の女性教員53名
 メンター講習会(コーチングの技術)開催
- ・相談窓口
 カウンセラーは京都市より派遣(地域連携)
- ・情報窓口
 ホームページに育児・介護に関する情報を掲載



III.「育児・介護支援」事業

病児保育室

開室時間 8:15~19:00
 伝染性疾患を除く病中・病後児
 受入人数 5名. 全教職員学生対象
 保育士 3名、看護師 2名、
 小児科医1名(小児科と併任)
 料金 1時間500円



夏休みキッズサイエンススクール

対象: 小学1年~3年
 期間: 8月20日~24日
 講師: 学内ボランティア教員・院生
 参加者: 3名/1日

保育園入園待機乳児の保育室

対象: 保育園入園を待機している
 京都大学の女性研究者・学生
 子ども: 9週間~14ヶ月の乳児
 利用料金: 5万円/月
 保育: ベビーシッター派遣会社から
 保育士の派遣を依頼
 開室日: 07年12月17日~翌年3月31日
 開室時間: 9時~18時
 場所: 女性研究者支援センター



IV.「柔軟な就労形態による支援」事業

産休・育休・介護期間中の研究・実験補助者の雇用
 対象は産休・育休・介護のため研究時間の確保が困難な女性
 研究者。院生は除く。年2回の募集。年間約30名が利用

在宅でのオンラインジャーナル閲覧

勤務体系の柔軟化に関する研究会

- ・「女性医師・研究者を支援して
 ゆとりある医療を実現する」
- ・「女性の活躍の場の拡大と
 ワークライフバランス:
 制度導入から仕事の見直しを
 含めた運用へ」
- ・「雇用形態の多様化と
 処遇格差をどう捉えるか」

